

令和5年1月臨時会

防災環境産業委員会資料

(議案関係)

- 第1号議案 令和4年度 茨城県一般会計補正予算(第7号)・・・1

令和5年1月23日
防災・危機管理部

第1号議案

令和4年度 茨城県一般会計補正予算（第7号）

○一般会計補正予算（防災・危機管理部分）

【今回分】

（単位：千円）

事 項	予 算 額	特定財源種目金額	一 般 財 源
防災・危機管理部 計	972,359	972,359	—

【歳出項目別】

（単位：千円）

款 名 項 名 目 名	補正前の額 (A)	今回の補正額 (B)	計 (A+B)
4 生活環境費	17,039,498	972,359	18,011,857
2 防災費	1,496,559	376,500	1,873,059
5 高圧ガス等取締費	40,455	376,500	416,955
3 環境保全費	12,953,597	595,859	13,549,456
3 原子力安全対策費	1,733,180	595,859	2,329,039

【繰越明許費】

（単位：千円）

款 名 項 名	補正前の額	補正額	計
4 生活環境費	—	595,859	595,859
3 環境保全費	—	595,859	595,859

○ 一般会計補正予算に係る防災・危機管理部の事業

新 LPガス料金負担軽減支援事業 376,500千円
 （LPガス料金の高騰の影響を受ける一般家庭に対し料金の値引きを行うLPガス販売事業者への支援）

・ 原子力災害対策事業 595,859千円
 （屋内退避施設の放射線防護対策等への補助）

主要事業等の概要（案）

防災・危機管理部 消防安全課

事業名又は議案の 名 称	L P ガス料金負担軽減支援事業 【新規】
1 予 算 額	376,500 千円
2 現況・課題	国の直接の支援は都市ガスに限定され、L P ガス（県内 6 割超）の支援は対象としていない。
3 必要性・ねらい	L P ガス料金の高騰の影響を受ける一般家庭に対し料金の値引きを行う L P ガス販売事業者への支援を行うことにより、一般家庭の負担軽減を図る。
4 事業の内容 (事業フロー、 年次別・全体計 画等)	<p>○ L P ガス販売事業者に対する値引き分の補助 (予算額 371,612 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助対象：L P ガス販売事業者（各世帯に対し料金の値引きをしていること） ・ 補助額：支援額 500 円（対象期間内に各世帯 1 回のみ） ・ 支援対象：県内の L P ガス利用世帯（約 75 万世帯） ・ 対象期間：令和 5 年 2 月～3 月の使用分 <p>○ L P ガス販売事業者への補助金の支払いに係る事務経費 (予算額 4,888 千円)</p>
5 参考事項 (過去の実績、 他県の状況、 関連データ等)	<p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用</p> <p>栃木県（12 月補正）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予算額：678,000 千円 ・ 補助対象：L P ガス販売業者 ・ 補助期間：令和 5 年 1 月～3 月

主要事業等の概要（案）

防災・危機管理部 原子力安全対策課

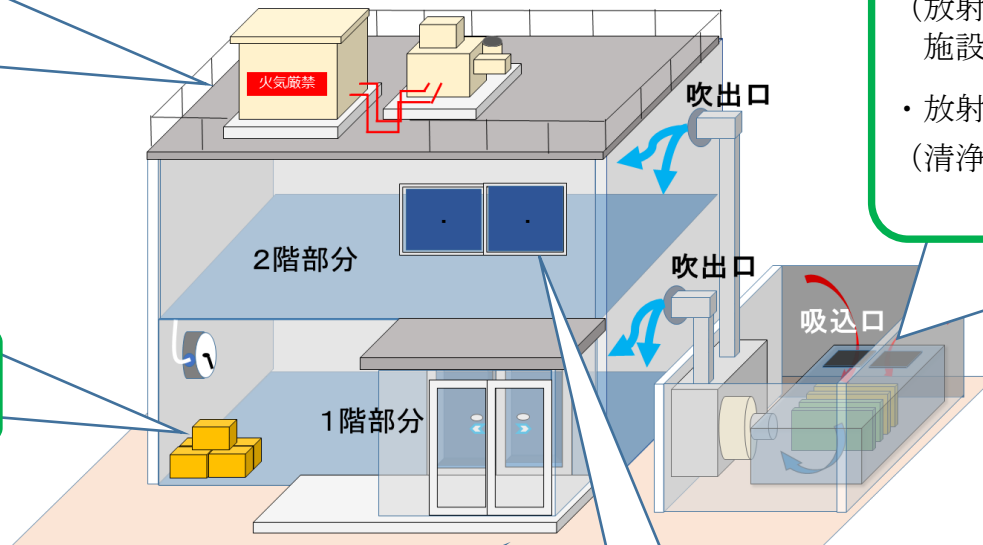
事業名又は議案の 名 称	原子力災害対策事業
1 予 算 額	595,859 千円
2 現況・課題	国は令和4年度補正予算で、原子力発電所周辺地域における要配慮者の屋内退避施設（病院、社会福祉施設等）の放射線防護対策や緊急事態応急対策等拠点施設（オフサイトセンター）の整備等に要する費用に対する補助金として、43億円を計上した。
3 必要性・ねらい	原子力災害発生時、要配慮者について福祉車両の確保が困難な場合などに備え、気密性の向上等の放射線防護対策を講じた屋内退避施設を整備しておくことが必要である。 また、原子力災害時に必要となる緊急事態応急対策等拠点施設（オフサイトセンター）の設備について、更新時期を踏まえ適切に更新する。
4 事業の内容 (事業フロー、 年次別・全体計 画等)	<p>○要配慮者の屋内退避施設の放射線防護対策事業 (予算額 485,639 千円)</p> <p>(1) 対象施設 東海第二発電所から概ね 10km 圏内の要配慮者の屋内退避施設（病院・社会福祉施設等）</p> <p>(2) 対象事業</p> <p>① 放射線防護対策（陽圧化、放射性物質除去フィルターの設置等）</p> <p>② 屋内退避に必要な資機材等の整備</p> <p>(3) 補助率：国 10/10</p> <p>(4) 事業実施先：4箇所 (介護老人保健施設藍、障害者支援施設ピュア里川^{※1}、医療法人社団青燈会小豆畑病院^{※2}、県立東海高校体育館^{※2})</p> <p>※1 H28 補正で一部区画の放射線防護対策工事実施済み。R4 補正では残り区画の放射線防護対策工事を実施。</p> <p>※2 R4 補正は設計のみ実施。</p> <p>○緊急事態応急対策等拠点施設（OFC）の空調設備等の更新 (予算額 110,220 千円)</p> <p>(1) 対象施設 茨城県原子力オフサイトセンター</p> <p>(2) 対象事業 空調設備等の更新</p> <p>(3) 補助率：国 10/10</p>
5 参考事項 (過去の実績、 他県の状況、 関連データ等)	H25 年度（補正）～R3 年度（補正）で配慮者の屋内退避施設 28 施設の整備を実施済。

屋内退避施設等の放射線防護対策工事のイメージ

放射線防護対策は、施設の形態、規模等により異なるが、主な放射線防護対策工事の内容は図のとおり。

非常用発電設備の設置

資機材・物資の整備



陽圧化装置の設置

- ・送風機の設備による陽圧化
(放射性物質の侵入を防ぐため
施設内の気圧を高める)
- ・放射性物質除去フィルターの設置
(清浄な空気を施設内に給気)

気密性の確保

- ・玄関出入口の二重扉化や壁及び窓枠等の補強